1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2392300121		
法人名	有限会社 あかり		
事業所名	グループホーム あかり		
所在地	瀬戸市宝ヶ丘町310番地の1		
自己評価作成日	令和6年2月3日	評価結果市町村受理日	令和6年5月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&Jigy_osvoCd=2392300121-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市中熱田区三本松町13番19号		
訪問調査日	令和6年2月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の入居者様がそれぞれの役割を分担し共同生活を送ることによって、認知症の進行を穏やかにし、安定した生活を送れる様に支援する事を目的としています。
その生活のリズムに合わせてその人らしさ自分らしさを、持っている潜在能力を発揮できるように努め、共に歩むパートナーとして笑顔あふれる寄り添いのケアを目指しています。
目標である
「私たちは生きるを支えます」 見る目、気づく目、予知する目、みんなで守ろう明るい笑顔
スタッフ一同心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームの併設して、認知症対応型のデイサービスを併設しており、事業所全体で認知症の方への支援が行われていることがホームの特徴でもある。利用者の中には、デイサービスからグループホームに生活場所を移行した方もあり、円滑な移行にもつながっている。日常の支援については、当ホームが1ユニットである利点を活かしながら、日常的に職員間で利用者に関する情報交換の取り組みが行われている。職員間での検討を行いながら、一人ひとりに寄り添った支援につなげている。外部の方との交流が困難な状況が続いているが、徐々に制限の緩和が行われていることもあり、家族をはじめとする外部の方との交流の機会にもつながっている。運営推進会議についても書面による実施かた対面方式による実施に移行しており、会議の関係者との情報交換の機会がつけられている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を共有していることがここ最近はない。実践に繋がっていることもない。 ・そもそも地域密着サービスの意義を理解できていない。 ・地域の方々と直接話をさせて頂くことはないが、出会った時に挨拶等行っている。 ・していない。 ・ホールに理念を掲げ、毎日一度は目を通し、実践に繋げるよう務めている。 	運営法人の基本理念を職員による支援の基本に考えながら、ホーム内に理念の掲示を行い、職員間で共有が図られている。職員に理念に関する説明等も行われており、日常の支援を通じて理念の実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の防災訓練に参加し交流している。(利用者は参加できる時のみ) ・交流はほとんど出来ていない。 ・ほとんどしていない。 ・出来ていない。 ・利用者と散歩に出かけることが無い為、地域の方と利用者との交流はない。 ・していない。 ・2ヶ月に1回運営推進会議で地域の方にも参加を呼びかけている。 	感染症問題が長期化している状況であるが、徐々に地域の方との交流を再開する取り組みも行われており、地域の清掃活動等、可能な範囲で交流が行われている。また、併設のデイサービスを通じた地域の方との交流も行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には行えるようにしていきたい。現状は活かしていない。 ・必ずしも活かしているわけではない。 ・出来ていない。 ・していない。 ・友人やその友達から相談を受ける事があり、その際はなるべくわかりやすく説明している。 ・ 	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出た意見を職員に報告しサービス向上につなげている。 ・行かせていない。 ・実践している。 ・会議に地域の方に出席頂き現状を見て頂いたり、意見交換させて頂き共有することが出来ました。 ・していない。 	会議については、今年度に入り、対面方式での会議を再開しており、関係者との情報交換等が行われている。また、会議に市職員の参加が得られており、会議を通じて、ホームの運営に関する意見交換等の機会にもつながっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・市担当者、包括と連絡をとり近況をお伝えし協力関係を築くようにしている。 ・密には取っていない。 ・管理者が対応 ・町内会に入っており、町内回覧板を受け取るにより協力出来ることは参加。 ・していない。 ・分からないことなどがあれば確認し協力関係を築くように務めている。 	市担当部署や地域包括支援センターとの情報交換等については、併設のデイサービスとも連携しながら行われており、市内の介護事業所が参加する連絡会等を通じた交流も行われている。また、市で行われている研修会等を通じた情報交換等も行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回定期的に身体拘束をはじめ学習機会を設けて習得し、取り組んでいる。 ・玄関の施錠はしている。 ・取り組んでいる。 ・玄関の施錠はやむなく行っているも身体拘束は行っていない。 ・正しく理解し身体拘束をしないケアに務めている。 	身体拘束を行わない方針で支援が行われており、職員間で連携した利用者の見守りが行われており、一人ひとりに合わせた対応につなげている。また、運営推進会議を通じた身体拘束に関する検討や職員研修を実施しており、職員の振り返りにつなげている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回定期的に学ぶ機会を持ち習得し防止に努めている。 ・職員全体的に虐待はしていないと思う。 ・努めている。 ・徹底している。 ・日々、利用者のおやすみに注意を払い防止に努めている。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記について学ぶ機会が持たず、スタッフに周知できず活用出来ていないのが現状。 ・学ぶ機会がない。 ・職員が日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会があったかどうか分からない。 ・あまり深く理解していないため再度学ぶ機会を作りたいと思う。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、了承の上で契約を結んでいる。 ・管理者が行っていると思われる。 		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のスタッフ会議に時、運営推進会議での意見を伝えている。 ・要望は聞かぬが反映出来ないように思われる。 ・家族から出た意見は管理者に報告し話し合っている。 ・ 	家族との交流については、徐々に交流を再開しており、利用者との交流につなげている。管理者が法人代表者でもあり、利用者や家族からの要望等には柔軟な対応が行われている。また、毎月の便りの作成が行われている。	家族との交流についても徐々に再開していることもあり、今後の状況をみながら、利用者や家族との交流が増えることを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映	・月1回スタッフ会議時に機会を設けている。	1ユニットホームである利点も活かしな	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的には聞いてようではあるが反映させているようにも感じず管理者の意向の方が大きい。 ・分からないことがあれば都度確認している。 	がら、職員間で意見交換を行う時間をつくりながら、法人代表者でもある管理者を通じて、職員からの意見等の反映につなげている。また、リーダーを通じた職員との意見交換を行い、管理者に報告する体制がつくられている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容については、把握はしているが職場環境条件の整備はまだ整っていない。 ・努めているようだが職員は精神的に疲れている。働きやすいとは言い難い。 ・改革中 		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受ける機会を設けてくださっているが一部のスタッフしか受講できていない。 ・オンラインけんしゅうの活用はしているが個人各々がオンライン研修を活用しているようにはみられない。 ・している。 ・オンライン研修を実施している。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記取り組み実施されていない。 ・そのような取り組みはしているような気配がない。 ・していない。 ・オンラインでの勉強会を実施しているがまだ参加できていない。 		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記、努めている。 ・介護職員は努めている。 ・努めている。 ・努めている。 ・まだやっていない。 ・安心していただけるよう傾聴に務めている。 		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記、必ず困りごとは伺い関係作りこに努めている ・家族の接点も管理者や一部の職員のみ。 ・努めている。 ・努めている。 ・本人との関係作りを努めている。 ・まだやっていない。 ・家族によりそい、信頼関係が築けるよう務めている。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず必要としていることは確認し、対応している。 ・一応努めている。 ・努めている。 ・まだやっていない。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係を築けるよう努めている。 ・暮らしを共にするという感覚にはない。 ・実践している。 ・暮らしを共にする者同士の間に入りそれぞれのメンタルに合わせるよう努めている。 ・やっている。 ・一方の立場におかず、出来ること、一緒にできることを常に意識している。 		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人を支えていく関係を築いている。 ・家族の要望に添うようにして本人との良好な関係にしようとは努めている。 ・努めている。 ・本人と家族の絆は多種多様でその家族の在り方を尊重しながら本人を支えるよう努めている。 ・行っていない。 		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に努めている。 ・出来ていない。 ・出来ていない。 ・コロナ禍の現状もあり、本人の友達、場所等に出かけることが無くなった為、難しい。 ・時々話をふり、昔のことエオ思い出していただけるよう務めている。 	利用者の中には、入居前からの関係を継続する等、ホームでも可能な支援が行われている。デイサービスから生活場所を移行した方は、デイサービスの方との交流の機会もつくられている。また、家族との外出の機会もつくられている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記、支援に努めている。 ・そこまで出来ていない。 ・努めている。 ・実践している。 ・合う人、合わない人が居るのでしっかりと把握しづつかりがないように努めている。 ・多少関わっている。 ・座席などを工夫し、利用者同士が関わり合いが出来るよう務めている。 ・ 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・退去後もご家族様より連絡頂く事もあり、以前に比べると関係性を大切にすることが出来ている。 ・わからない。 ・まだ行っていない。 ・連絡があれば、いつでも相談にのる気持ちで支援に務めている。 ・ 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容把握に努めている。 ・努めている。 ・している。 ・その人の立場を思いやる事が一番だと思います。 ・常に利用者の立場に立って傾聴に努めている。 ・ 	職員間で利用者に関する細かな意向等の把握が行われており、一人ひとりに合わせた支援につなげている。また、1ユニットのホームである利点も活かしながら、利用者や家族の意向等を日常の支援を通じて検討が行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活歴など入居前にアセスメントを確認し把握しケアに活かす努力をしている。 ・努めている。 ・している。 ・努めている。 ・会話、コミュニケーションを図ることで生活歴も見えてくるのでその部分を大切にしている。 ・している。 ・定期的にケアプランを見返している。 ・ 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの現状を把握しスタッフ同士で情報共有心ケアに活かすよう努力している。 ・努めている。 ・している。 ・努めている。 ・会話する事、歩行状態で本日の心身状態などの把握に努めている。 ・している。 ・日々の様子に注意して、現状の把握に努めている。 ・ 		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を本人、家族、スタッフと話し合い現状に即した介護計画書を作成している。 ・介護計画と現場がリンクしているように感じない。 ・している。 ・1ヶ月に一度夜のミーティングあり。 ・している。 ・ 	介護計画については、6か月を基本に見直しが行われており、利用者に関する細かな情報交換等も行いながら、柔軟な見直しが行われている。また、記録用紙に気風を行いながら利用者に関する変化等を把握し、モニタリングにつなげる取り組みが行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間常に情報共有し介護計画の見直しに活かしている。 ・介護計画の見直しまで至っていない。 ・努力している。 ・している。 ・行っている。 ・している。 ・都度、課題などがあれば検討事項で取り上げ話あっている。 ・ 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な支援ができるよう努めている。 ・取り組めていない。 ・している。 ・行っている。 ・している。 ・管理者に報告した上で柔軟な対応に努めている。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり実践できておらず。支援もほとんど出来ていない。 ・地域資源の協働はみられない。 ・していない。 ・出来ていない。 ・分からない。 ・なかなか力を発揮出来るような支援は出来ていない。 		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援している ・出来ている。 ・支援している。 ・している。 ・実践している。 ・している。 ・体調の変化があれば主治医に連絡をし適切な医療が受けられるよう務めている。 	協力医との医療面での柔軟な支援が行われており、利用者の健康状態に合わせた支援が行われている。受診については、家族による支援の他にも、ホームでも必要な支援が行われている。また、訪問看護との医療面での支援も行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・週一回訪問看護が見える際、利用者の状況を伝え、適切な看護を受けられる様支援している。 ・出来ている。 ・支援している。 ・している。 ・実践している。 ・している。 ・週1回訪問して診ていただいている。その際利用者の状況を共有し適切な看護を受けられるよう務めている。 ・ 		
32		○入退院時の医療機関との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換し、相談し。関係作りに努めている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・病院関係者との関係作りは行っていない。 ・している。 ・実践している。 ・分からない。 		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階から家族と話し合い「看取り介護」をはじめ、スタッフと支援に取り組んでいる。 ・介護職員まで共有出来ていない。 ・取り組んでいる。 ・している。 ・実践出来ていない。 ・している。 	身体状態の重い方もホームでの生活を継続できるように支援が行われており、ホームでの看取り支援も行われている。利用者の段階に合わせた家族との話し合いを行い、医療機関等への移行を含めて、ホームで支援可能な内容の確認が行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は定期的に行えていない。 ・訓練は行っていない。 ・している。 ・出来ていない。 ・行っていない。 ・していない。 ・緊急時のマニュアルを事務所に貼り出してあり、時々目を通している。 ・ 		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難方法を全職員が身につける機会がない。地域とは協力体制を少し築いている。 ・地域の方も参加しての避難訓練実施 ・出来ていない。 ・行っていない。 ・していない。 ・年2回避難訓練を行っている、 	年2回の避難訓練を実施しており、夜間を想定した訓練や通報装置の確認等も行われている。地域の方にも協力を呼びかける取り組みが行われており、地域の方との連携につなげている。また、ホーム内で備蓄品の確保が行われている。	当ホームに宿泊できる設備が備えられているデイサービスを併設していることもあり、非常災害の地域の方の受け入れも含めて、地域の方との協力関係の取り組みにも期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・対応している ・一応行っている。 ・している。 ・心がけている。 ・そのように努めている。 ・している。 ・その人を尊重し、声をかける時は、気をつけて話かけるよう努めている。 	ホームで作成している年間の目標には、「見る目、気づく目、予知する目」を意識する等、職員による利用者への対応の意識向上につなげている。対応が困難な利用者についても、職員間で言葉遣い等を確認する等、利用者への対応につなげる取り組みが行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人さんに決めてもらってから次の行動(支援)へうつすようにしている。 ・自己決定できるような場面があまりない。 ・している。 ・心がけている。 ・そのように働きかけている。 ・している。 ・ご本人がなるべく混乱しないような声掛けをし自己決定が出来るように努めている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の都合になってしまうことがある。 ・職員の都合優先 ・している。 ・職員の具合になっている。 ・その日の状態の様子観察しながら支援している。 ・している。 ・仕事の都合を優先することが多いがなるべく御本人のペースを大切にしていきたいと思う。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援している。 ・起床時ご自分で服を選んでもらったり、髪を整えたりして頂いている ・している。 ・している。 ・心がけている。 ・行っている。 ・している。 ・本人の希望をできるだけ尊重し清潔感のある身だしなみを支援できるよう努めている。 ・ 		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けし、一緒にできることは行っている。 ・やっていない。 ・している。 ・している ・出来ることは実践している。 ・行っている。 ・している。 ・出来る家事活動は、一緒に手伝って頂き、食事が楽しみになるよう努めている。 	食事は、外部業者を活用しながら提供が行われており、利用者の身体状態に合わせた食事形態の対応も行われている。バイキング方式で配膳を行う等、利用者ができることに参加できるような取り組みが行われている。また、季節等にも合わせた食事の提供も行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援している。 ・習慣までは支援できていない。 ・している。 ・している。 ・行っている。 ・している。 ・利用者の状態に応じて食形態を変えている。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア行っている。 ・行っている。 ・している。 ・実践している。 ・行っている。 ・している。 ・出来る方はご自分でやって頂き、ひとりで難しい方は出来ない所だけ支援している。月1回衛生士による指導を行っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を行っている。 ・減らすどころか一度に複数枚使用している人もいる。 ・行っている。 ・行っている。 ・排泄の間隔を確認し定期的にトイレ誘導を行い自立に向け他支援に努めている。 ・ 	<p>利用者の排泄記録を残し、日常的に申し送り等を行いながら、一人ひとりに合わせた支援が行われている。トイレでの排泄を基本に考えながら、声かけのタイミング等の検討が行われている。また、排泄に関する医療面での連携も行われている。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、薬剤師と連携し予防に取り組んでいる。 ・あまり出来ていない。 ・行っている。 ・実践している。 ・水分量の確認はしているが食べ物の量の工夫は不足している。 ・している。 ・酸化マグネシウムを服用しながら、水分も多めに摂ったり、個々に応じた予防に努めている。(時にはラキソベロン) 		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の都合で曜日と時間を決めている時がある。 ・職員の都合。 ・職員具合になっている。 ・職員都合での入浴が多い。 ・私はしていない。 ・仕事の都合で入浴を行っているが本人が嫌がる時は無理に入れない。 ・ 	<p>ホームでは、利用者が週2回の入浴ができるように支援が行われており、入浴を拒む方にも声かけを行いながら、定期的な入浴につなげている。手すりを多く設置することで、身体状態の重い方も入浴ができるような工夫が行われている。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援している ・行っているが昼夜逆転傾向の人もいる。 ・している。 ・実践している。 ・している。 ・利用者の状況を見ながら症状の変化の確認に努めている。 ・ 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容は理解し変化を見ている。 ・全て理解できているわけではない。 ・努めている。 ・している。 ・実践している。 ・行っている。 ・全ては理解していない。 ・薬の説明を時々見返し症状の変化の確認に努めている。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容は理解しているが気分転換の支援は出来ていない。 ・全ての人ではないが自分で好きなことをされている。 ・している。 ・支援したいと思うも会話、コミュニケーションで終わってしまうことが多い。 ・出来ていない。 ・興味ありそうなことには積極的に声をかけ、気分転換への支援に努めている。 		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と外出される入居者もいる。 ・都外は行けていないが家族との外出は許可している。 ・出来ていない。 ・小さな買い物等、スタッフと利用者が出かける事で気分転換になるし望ましいと思われるが・・・ ・出来ていない。 ・外に出かけるような支援は出来ていない。家族と時を、喫茶店に行かれる程度。今後、コロナも落ち着いてきたため外出の機会を増やせたらと思う。 	感染症問題が長期化していることもあり、利用者の外出が限られた範囲となっているが、徐々に外出の機会をつくる取り組みも行われており、利用者の楽しみの機会につなげている。家族との外出も行われており、利用者の意向等に合わせた外出が行われている。	利用者の外出については、ホームでも前向きな取り組みが行われていることもあり、今後に向けて、利用者の外出の機会が増えることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 一部、小銭を持って見える方もいるがほとんどの方が金銭管理が出来ていない。 お金は使えない状況(施設持ち込みをかとしていない) お金の所持していない。 していない。 出来ない。 行っていない。 していない。 事務所で預かりしている。 . 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 支援できていない。 自由に電話は出来ていない。 していない。 出来ない。 行っていない。 していない。 必要に応じて柔軟に対応している。 		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 季節の花を飾り、壁画飾りもその月のものにしてている。 一応行っている。 工夫している。 している。 実践している。 行っている。 している。 四季を感じるような飾り付けをし、間取りも工夫し、居心地いい空間作りに努めている。 	ホーム内については、リビングが広めの空間が確保されていることで、利用者が日常生活を通じて閉塞感を感じないような生活環境がつけられている。リビングの壁面には、季節等にも合わせた飾り付けや利用者の作品の掲示等が行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 工夫している。 一応行っている。 している。 心がけている。 している。 のんびりと過ごせるようにソファの配置を工夫している。 . 		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 工夫している。 一応行っている。 している。 心がけている。 私は行っていない。 本人の使い慣れた物を置いてなるべくあぶなく無いよう家具の配置も考え、安心して過ごせるよう工夫している。 	居室には、利用者や家族の意向等にも合わせた家具類の持ち込みが行われており、一人ひとりに合わせた居室づくりが行われている。また、利用者の中には、家族との写真を掲示している方や化粧品等の持ち込みも行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	工夫できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・全てにおいて自立した生活が遅れるような工夫は出来ていない。 ・工夫している。 ・している。 ・心がけている。 ・している。 ・各動線に手すりを設置し、安全に移動できるようにしている。足元にもなるべく物を置かないようにくふうしている。 	/	/